

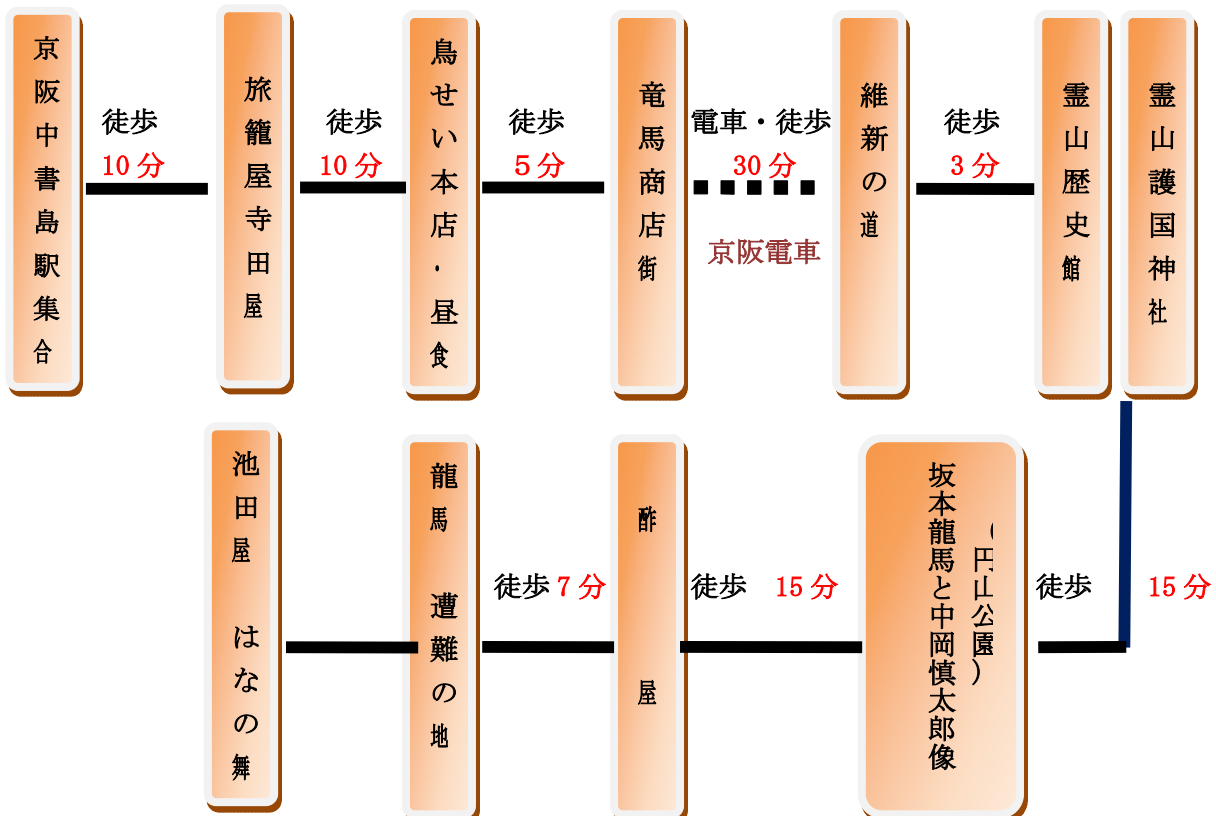
「西日本聴覚障害者公務員会」会員各位

# 龍馬への道

初夏の候 衣替えの季節を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。  
さて、標記の件について、下記のとおり開催いたします。今話題の龍馬の世界にどっ  
ぷりつかろうではありませんか!!  
みなさま、振るってのご参加お待ちしております。

## 記

- 日 時 : 平成22年7月10日(土) 11時 ~  
集合場所 : 京阪中書島駅 北改札口前 11時 (京都市伏見区)  
ル ー ト :  
1日目 : 寺田屋、月桂冠大倉記念館、京都霊山護国神社、霊山歴史館  
2日目 : 宿泊者がいる時、催行します。 山崎蒸留所見学  
参加費 : 実費  
参加申込 : 以下の申込書に記入のうえ、担当・廣瀬まで  
FAX 075-581-1606 Email: info-west@choukoukai.net  
〆 切 : 平成22年7月3日(土) 夜12時  
※最小催行人員6名に満たなかった場合催行中止となります。



## 寺田屋

「寺田屋事件（坂本龍馬襲撃）」の舞台として有名な宿です。慶応2年（1866年）、宿泊していた坂本龍馬は、伏見奉行の林忠交肥後守の捕り方に襲撃され、後に妻となるお龍の機転と薩摩藩のおかげで、その危機を乗り越えました。建物は、鳥羽・伏見の戦いの兵火で一度は焼失し、現在の建物は、その後当時の敷地の西隣に再建されたものです。

入館料：400円 入館時間：10:00-15:40



## 維新の道

東大路通りから霊山護国神社、霊山歴史館に続く参道は、「維新の道」と呼ばれており、途中に「翠紅館（すいこうかん）」があります。翠紅館は、文久3年（1863年）1月に土佐藩・武市半平太、長州藩・井上聞多、久坂玄瑞ら、また同6月には長州藩・桂小五郎、久留米藩・真木和泉らの反幕府勢力の各藩志士代表者達による会議が行われた場所です。現在は京懐石の料亭になっています。



## 霊山歴史館

霊山のふもとにある、日本唯一の「幕末・明治維新専門」歴史博物館。坂本龍馬をはじめ、西郷隆盛や桂小五郎（木戸孝允）といった倒幕の志士達、新撰組や京都守護職などの幕府側の人々、幕末から明治にかけて活躍した人々に関する資料を展示しています。等身大の龍馬の人形や、龍馬が亡くなる際に斬られた刀など、貴重な現物資料を数多く見ることが出来ます。



## 霊山護国神社

明治元年（1868年）に建立された日本初の招魂社（しょうこんしゃ）です。

招魂社とは、明治維新の前後、国家のために亡くなった人々を祀り弔った神社のことで、明治天皇から「維新を目前にして倒れた志士たちの御霊を奉祀ため、東山の霊山の佳城社を創建せよ」と詔・御沙汰が発せられ、それに感激した公家や山口・高知・福井・鳥取・熊本などの諸藩が、京都の霊山の山頂にそれぞれの祠宇を建立し、これが霊山護国神社創建の始まりです。祭神として、坂本龍馬や中岡慎太郎をはじめ、平野国臣、久坂玄瑞ら幕末勤王の志士1,356柱、また明治以降の日清戦争、



日露戦争、太平洋戦争などの戦死者を合わせ約73,000柱が祀られています。龍馬の墓は、霊山護国神社から入山できる霊山の頂上にあります。 入場時間：10:00-16:30（入館は16時まで）  
入場料金：平常展300円・特別展500円／月曜休館

---

## 申 込 書

氏名 \_\_\_\_\_ 職場名 \_\_\_\_\_

連絡先 FAX \_\_\_\_\_ Email \_\_\_\_\_

宿 泊 自分で確保（ホテル名） \_\_\_\_\_

あり（用意して欲しい） \_\_\_\_\_ なし \_\_\_\_\_

2日目 参加する \_\_\_\_\_ 参加しない \_\_\_\_\_

必要な情報保障 \_\_\_\_\_ 手話 \_\_\_\_\_ 要約筆記 \_\_\_\_\_

※なお、Emailで申し込む時は上記内容を記入してください。

※情報保障については用意は出来ませんが、参考のため記入ください。